

DOYU

あおり

2021 Sep

9

vol.245



経営指針委員長・附田 久志 氏



共同求人委員長・花田 仁 氏



社員共育委員長・石澤 暁夫 氏



共に生きる障がい者問題委員長
立崎 文江 氏



広報委員長・大和 英樹 氏



女性部会長・岩木 節子 氏

- 02 例会アンケート
- 03 企業紹介
- 06 委員会活動紹介
- 08 経営研究集会
- 09 共に生きる障がい者問題委員会
- 10 新会員紹介／編集後記

例会アンケートより ～会員の皆さんの悩みは何でしょうか～



青森同友会では県内5支部でそれぞれに例会を開催しています。各回で参加者アンケートを回収し、それ以降の例会内容への反映などを行っています。今回はこの春からの例会で寄せられたアンケート結果をまとめてみました。

「今後の例会の内容について、関心のあつるもの」についても細分されていますが、支部ごとにアンケートの内容が多少違う為、調整を行って記載しています。

分野を特集して掲載しています。また青森支部では他支部と違い、例会の感想についての項目に参加者自身のグループ討論での振り返りを盛り込んでいます。2021年度に行った例会のアンケートをまとめた結果、「議論がまとまりきらなかった(8%)」「もの足りなかった(1%)」といった課題点も垣間見える結果となっています。

例会アンケートの結果を基にして、各支部の幹事会を中心に例会内容が検討され、会員の皆さんの関心に応え、経営に役立つ例会づくりが進められていきます。オンラインでの配信も併用した例会が増えてきています。皆さんもぜひ、例会へご参加ください！

今後の例会の内容について、関心のあるもの



グラフは
2021年4月～7月の
例会アンケートを
まとめたものです(全県)。

屋根・外壁・リフォーム工事
板金工事の専門会社です。

有限会社 工藤板金工業

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼 22-17
TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833
<http://www.kudou-bankin.co.jp/>

会員企業紹介

社員教育についての考え

株式会社山匠電気工業

代表取締役 **山 子 泰 典** さん

本社：青森県八戸市十日市字松ヶ崎 4-5
エコ電化事業部：青森県八戸市田向 2 丁目 12-5
社員数：20 名（パート 6 名）

八戸市を中心に青森県南および岩手県北を主な営業エリアとし、住宅関連の電気関連工事を主事業としている同社。「仕事を通じて、自己成長とチャレンジ精神、他者へ貢献する気持ちを育て、自身の技術と人間力を磨き続けるのが弊社の使命です」と語る二代目社長 の山子泰典氏（42）に社員教育についてお話を伺った。



学びは全ての業務に優先する

日本人は約50年働く時代になったと考えると、ほとんどの人は何らかの理由で転職する可能性が高いです。固有の専門知識や技術があっても、次の勤め先でそれが役立つかどうかわかりません。だから人として大事にしなければならぬことをうちの会社で学んでおけば、たとえ転職したとしても他の会社で役に立つでしょう。仕事を通じて自己の人間的成長ができれば、結果的に顧客の利益に繋がるし会社の成長にも繋がります。

私が社員に伝えている「学び」とは仕事に必要な専門的な技術や知識のことではなく、5Sの事です。毎日の業務の中で行う「整理、整頓、清掃、清潔」に加え、普通は「しつけ」ですが、我が社では「さわやか挨拶」を入れて5Sとしています。この5Sが「全ての業務に優先する」という事です。会社の目的は「永続すること」ですが、その根拠として5Sを大事にしようというのが先代から引き継いだ考え方です。

具体例で言うと、毎朝の朝礼後の清掃、週一回の車両清掃、また土曜日は4Sデイと決めて1時間の掃除を全員で行います。これらは教育費の一部だと考え就業時間内にやって

います。また、5Sの大切さや他社の事例を聞き、社員同士で話し合うことで自身の人間力を高める時間を作るようにしています。実際、技術職の職人さんが多い会社なので、以前は仕事現場での清掃をするのはわかるが、自身の人間力を高めることが必要なのか、など反発があったのも事実です。私は「業務としての技術は当然大事だけれど、お客様の困りごとや願いも分からなくてどうやって満足してもらええる仕事ができるの？」と社員に問いかけ、相手に共感できる力をつけることの大事さを理解してもらええるようになってきています。

5Sは20年以上続けているので社風となっていますが、社員の中には入社当時戸惑いがあった人もいたよ



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007



うです。社員にはこれからも成長してほしいと思っていますし、会社・顧客・家族・自分など、誰かの役に立つために成長する理由と大切さをこれからも伝えていかなければならないと考えています。

「うちの会社で教えていることは子どもでもやればできるし、そこを疎かにすると会社もうまいかなくなる。当たり前のことを当たり前にしよう。」というのが創業者である会長の信念にあります。私は先代の思いを引き継いでいるだけです、誰も見ていなくても、私一人でもやり続けるという覚悟や姿勢は必要です。経営者の立場でも継続してやっているからこそ説得力もあるし、社員へのしめしにもなると思います。今後の電気を取り巻く環境は多岐



記：高橋 利典

にわたり、より多様化、細分化されていきます。モノやコンテナツが細かくパッケージ化され、お客様や取引先様から用意されたものを取り付けるだけの仕事になりかねない状況です。間違いなく工事単価は下がっていくでしょう。その時に必ず自分たちの強みは何かを試されます。私は住宅と暮らしの一番近い立場でお客様の困りごとを解決する提案力が大事になってくると考えています。技術や知識があることは当然ですが、お客様と関わりの中で大事な人間力を育てる会社を目指していきます。

「あきらめない経営者」

合同会社ナチュール青森

代表社員 **工藤 真義** さん

青森市橋本2丁目19-13
食品製造・小売業・飲食業

今回取材させていただいた経営者、工藤真義代表は昭和42年青森に生まれました。高校卒業後は会社員として働いていましたが、2012年に独立し、居酒屋をオープンさせます。郊外にあったこの居酒屋は和洋折衷のごく普通の居酒屋でしたが、コースの最後に出すプリンがお客様に好評だったそうです。簡単だけど奥が深く、誰からも愛されるプリンがその後の工藤代表を支えてくれるとはこの時はまだ気づいていなかったのかもしれません。



産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21

東管工業株式会社

代表取締役 蛸沢 宮行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467

転機1

ご縁があつて青森市の新作スイーツコンテストに応募することになり、なんと、ここでプリンが入賞します。そこから運命がどんどん変わっていったのです。

主催した青森市から「プリンを商品化して売ってみないか」という話を持ちかけられ「あおもりプリン」として売り出します。販路やターゲット、コストについても相談しながら展開していきまし。県産の材料をこだわって使っていることなどから、コストがかかる商品は、販売価格を考えて当面のターゲットを首都圏に定めたそうです。はじめは直接お客様に売るのはなく、企業にプリンを卸すという、卸業としてスタートしました。

この頃、すでに合同会社として企業化していたことから敏腕経営者として「未来を見る目」はすでに垣間見える気がします。そして首都圏で行



われる展示会に積極的に出店をし、市や県からの情報を取り入れながら、少しずつ販路の拡大をしていきました。なんとか順調に売り上げは伸びていくものの、未だプリンの調理や梱包作業は居酒屋のテーブルの上。プリン専用の機械も小さく、生産に限界が出てきていました。

転機2

そんなとき現在の「ナチュールあおもり」の場所に移転することになりました。工藤代表が建物を見てこれからのことを想像した時には、すでに頭の中では完成図が出来上がっていたのかもしれませんが。カフェを併設し店頭でプリンを販売、製造や開発も行う。そう決めた工藤代表は突き進みます。「厳選素材を使い、余計なものを使わない」そんなコンセプトで、これでだめならこうしてやろう。これのほうがいいならこうしていいこうと、プリン自体の値段もパッケージも幾度も変わっていったそうです。

ナチュールがオープンするにあたり「プリン屋さんがやっているカフェ」としてメニュー構成を考えたそうです。そして同時にオペレーションを簡単にし、マニュアル化することにも力を入れました。ここでまた工藤代表は3年後5年後のナチュールを見ているのだと感じました。

スタッフが自分たちでカフェのメニューを考案し、商品開発をしていくような指導に努めて、その間も工藤代表は行政やコーディネータと話し合いながら将来の未来を描いていきます。経営者として、「未来を描く」「方向性を示す」というのは必要不可欠であり、とても勇気のいることだと思っています。

コロナ禍で飲食業界が疲弊し、未

来に夢を持つことさえ難しい現実に向き合っている企業がたくさんいる中、今だからこそあきらめずに攻めの姿勢で行くと断言できる工藤代表の覚悟と勇らしさに明るい未来を感じずにはいられません。

転機3

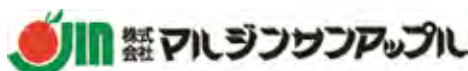
コロナ禍が転機になり次の経営につなげることが出来る経営者はそれほど多くはないのではないのでしょうか。工藤代表はまさにそれを現実にしようとしています。今年、社名を株式会社ナチュールプロビジョンに変更し、新しい加工場を作る予定だそうです。二次加工もできるような多面性を持ち青森で商売をする人の手助けになりたいと考えているそうです。

「将来的には素材の生産から販売までを手掛ける食のトータル産業を目指したい」と話していらいっしやいました。

最後に工藤代表にモットーは何かと聞いたところ「あきらめないこと」とおっしゃっていました。それもちろんです。私は未来を見据え、転機をチャンスに変える行動力こそが工藤代表の強みであり、生き生きとしている秘訣なのではないかと感じました。



記…鹿内 麻矢



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附田 久志
(株)青北建設・代表取締役社長



7月13日 川下支部長よりご協力を頂いて下北支部との合同例会を行いました。参加はゲスト4名、オンライン参加を含めると32名の参加となり、下北支部の会員数を考慮すると大きな成果です。報告者はササキ石油販売株式会社 代表取締役専務の佐々木佳弘さんにお願ひしました。経営指針を創ってから10年が経過した報告でしたのでかなり進化した形を学ぶ事ができたのではないかと思います。また10年ビジョンを社内でも共有しようとする姿勢が参考になった会員さんもおられたようです。

このような形で経営指針委員会は経営指針作成の啓蒙活動を県内に進めて参ります。全ての支部で合同例会を開催し、経営指針、10年ビジョンの報告と内容の濃いグループ討論を行うことを目標としています。

経営指針を創り、社内でも運用し、その成果と問題を他の経営者と共有しながら学びを深めていくことが理想形です。下北支部との合同例会はその大きな第一歩となりました。

共同求人委員会

委員長 花田 仁
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長



「人づくり・企業づくり・地域づくり」の実践活動を目的とした、共同求人委員会は今年度で10年目に入りました。中小企業家同友会の存在を知って頂きたく、高校・大学の教職員との懇談会、企業説明会、講話会等を重ねてきましたが、コロナ禍でスタイルを一新せねばならなくなり、これも同友会で言う、時代・世代の変化への対応を試されているようです。

今年度は、新たに青森大学の「インターンシップ」を試験的に実施する予定です。インターンシップは生徒・学生にとって職業観の醸成、また企業としては受け入れ体制を作る上で若手社員さんの育成や企業の成長につながる有意義な取り組みです。したがって、場当たりの採用による離職者を防止したり、学生と企業とのミスマッチを防止したりする効果的な手段です。また、昨年度発行の企業情報誌『Wing2022』は過去最多の61社に掲載頂き、内容も、より見易くなるなど充実してきました。今年度発行予定の『Wing2023』も生徒・学生の目に触れられるよう工夫を重ね、企業とのマッチングを目指したいと考えます。

同友会会員企業の皆さんには、独自の採用活動並びに人材教育に関する情報がありましたらお知らせ下さいますようお願いするとともに、併せて委員会のお手伝いをして頂ける方を募集しています。

地域発展の原動力となる若者たちが生き生きと暮らせる躍動感ある地域づくりの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

社員共育委員会

委員長 石澤 暁夫
(株)エーアイサイン・代表取締役



「社員・経営者の成長は企業の成長」という自覚のもと、各社の経営理念、目標などを社員と共有しベクトルを合わせる事が重要です。同友会の社員教育(共育)活動は職業人、社会人としての自覚を高め、仕事を通じて自分の能力を発揮して生き甲斐、働き甲斐を醸成することが委員会の目的です。これまで新入社員から一般、幹部社員に至るまで同友会理念と労使見解に即した、一貫型の研修事業の計画、実施に取り組んできました。昨年度はコロナ禍により各種研修活動を休止し、学びの機会を失ったことが悔やまれます。

今年度は委員会体制を整え毎月メンバーで話し合いをし、それぞれの研修を検証、見直しました。研修内容が受講企業の皆さんにとって学びの深い、魅力あるものにするため、検討を重ねています。

今年度は9月から3回シリーズで「中堅社員研修会」を実施します。初回はどの企業も懸案事項であるコミュニケーション向上の講座、社員間、立場の違う社員同士のスムーズな組織運営を学びます。2回目は企業見学を通じて3S(整理・整頓・清掃)の取り組みについて学びます。ここではコロナ禍でどのように実践したのか生の声を聞きます。最終講座はまとめとして学んだことをどう会社に落とし込むかという具体事例を話し合い、各自のスキルアップを目指します。リーダー、幹部、それら候補となる社員さんを対象に、学びと同時に受講生同士の親睦も図り、同友会らしい有意義な講座にしたいと思ひます。

経営者と社員さん双方の意識、能力向上のため積極的な参加をお願い致します。

- モニュメント
- デザイン
- ネオン
- サイン

ART DESIGN

株式会社

エーアイサイン

Call 0172 62-5508 Fax 62-5516

Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL <http://www.ai-sign.com> MAIL aisign@infoaomori.ne.jp



私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

委員会活動紹介

共に生きる 障がい者問題委員会

委員長 立崎 文江
(一社) 日々木の森・代表理事

障がい者理解を深める活動を行うとともに、障がい者就労の推進、就労困難者の支援、同友会が掲げる「人を生かす経営」の実践により障がい者を含め全ての人が生き生きと働くことができる社会の実現を方針として活動しています。

- ① 学びで繋がる
「障がい者雇用を知る・考える」と題して3回のシリーズセミナーを行います。
- ② 知って繋がる
法定雇用率の改定に伴いアンケートの実施と結果を基に障がい者雇用のモデル企業の発掘をしていきます。
- ③ 対面で繋がる
特別支援学校の見学、児童養護施設との関わりを深め、就労困難者を知る活動を行います。
- ④ 身近に繋がる
各支部内で障がい者雇用が気になる仲間を増やす取り組みを推進し、共同求人委員会とも連携を図っていきます。
- ⑤ 全国と繋がる
障がい者問題全国交流会 From 埼玉への参加により全国の仲間と繋がります。



広報委員会

委員長 大和 英樹
(株) マルヤマ・代表取締役

広報委員会では、6月28日に広報委員5名で委員会を開催しました。内容は委員会版DOYUあおり(9月号)に掲載する企業紹介と委員会・部会ついて話し合いを行いました。企業紹介に関しては、例会アンケートで集計している「今後の例会の内容について、関心があるもの」の上位二つのテーマ(人材育成・販売戦略)にスポットをあて、テーマについて特に力を入れている会員企業に取材を依頼する事になりました。委員会についてはどんな活動をしているか分からない会員が多いという意見から、委員会版DOYUあおりにも各委員会の活動や宣伝をするページを新たに設けるという方向になりました。



女性部会

委員長 岩木 節子
(有) 岩木建設・専務取締役

女性部会は今年度、『経営を語り、学び、いきいき輝く女性たち』をスローガンに掲げ、奇数月に全県の部会例会を持ち回りで実施することを計画しています。各地区の役員が中心となって企画案を検討し、全県の部会員にご案内しています。プロカメラマンの経験を持つ(有)トランスクリタの栗田岬知さんを講師に迎えた写真講座や下北支部例会への積極参加の呼びかけなどを行ったほか、9月には三沢地区の設営で、後継者としての心構えについて、(有)ダイワ自動車商会の大野晶子さんを報告者に迎えた報告例会を実施予定です。

6月29日に行われた全国行事「第24回女性経営者全国交流会」はオンライン開催となりましたが、8名が参加してSDGsをはじめとした幅広い学びが展開されました。

今年度の大きな特徴の一つに部会員名簿の作成があります。部会員の顔写真付きの手帳型の名簿を作成し、文字通り「顔の見える部会」にしていきたいと思っています。名簿は2022年1月の完成を目指しています。

女性部会は現在、59名で活動しています。同友会理念の自主・民主・連帯の精神に基づき、信頼し信頼される仲間を増やし、今年度のスローガンに近づくべく、邁進中です。未加入の女性会員の皆さん、どうぞお気軽に加わってください、お待ちしております。



ニッポンの窓をよくしたい



MADOショップ 八戸青葉店



MADO ショップは、納得できる窓リフォームのお店です。

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104



有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1

TEL.0175-29-5611

釜淵山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

経営研究集会

第20回 経営研究集会

2つの分科会があります！分科会を選んでご参加ください。

第1分科会

不良から優良へ、優良から超優良へ！

元元でも有名な不良少年は15歳でマダロ通船に乗った後、藤を転々とする中で人生の師匠に出会い、独立します。経営者としての道を歩み始めて出合った同僚会での学び、超優良企業づくりに情熱を燃やす若手経営者、渾身の熱意です。

川上塗装工業(株) 代表取締役 川上 秀郎 氏

第2分科会

キーワードから生まれる新たなビジネススタイル ~形にとらわれない福祉~

介護事業を手掛ける同社は「できないことの補填」ではなく「やりたいことのサポート」がサービスの根幹になっています。利用者の個性に合わせた新しい介護「認知症ケア型サービス」は業界の中で注目を集めています。新事業によって大いに変わるビジネススタイルについて学びます。

(株)池田介護研究所 代表取締役 池田 右文 氏

●お申込みは●
表裏の参加申込書にご記入の上、青森同友会事務局へFAXまたはe.doyuでお申し込みください。

●会場の周辺には●
駐車場の数が限られていますので、できるだけお早めにお申し込みください。

●オンライン参加費と配布資料●
配布資料はダウンロード形式で前日までに配信します。

●オンライン参加について●
オンライン参加は「Zoom」を使用します。オンライン参加の場合にもグループ討論がありますので、ご参加ください。

●参加費について●
当日会場にて申し受けます。オンライン参加の方は、会費と併せてご請求致します。

●コロナ対策について●
新型コロナウイルス感染症予防対策のため、ご参加の際は【必ずマスク着用】の上、ご来場下さい。また、会場受付において消毒液及び体温計を設置いたしますので、必ずご使用ください。体調不良の場合は無理をせず、事務局に連絡の上、ご欠席下さい。マスクの着用は全ての会員の皆様が安心して経営研究集会にご参加いただける環境づくりの要諦ですので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

青森県中小企業家同友会 第20回 経営研究集会

“モンスタードライバー”が挑戦した人生

講師 (株)タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長兼社長/CEO 田嶋 伸博 氏

石川県から単身上京し、レース界で成功を収めた青年はやがてものづくりに乗り出し、それを皮切りに地域創生、脱炭素社会への貢献へと取り組むの幅を広げていきます。今尚“モンスター”の異名でレースに参戦する田嶋氏のバイタリティ溢れる講演です。

日時 10月28日(木) 14:30開会
受付/14:00～ 基調講演/14:40～ 分科会/16:15～

場所 サン・ロイヤルとわだ (十和田市東三番町37-7 TEL0176-23-2266)

参加費 3,000円 (来場・オンライン共に)
※オンライン申込の方には前日までに、コーディネート・バスコード・配布資料等を、メールで送付いたします。

※【参加申込書】10/21日必着です。※10/22日以前に申込書を送付して頂けませんので、その旨はご留意ください。

お申込みはFAXまたはWEBで!!
FAX 017-752-0170
青森同友会
http://aomori.doyu.jp

【主催】青森県中小企業家同友会

毎年、秋に行われる青森同友会最大の学習行事「経営研究集会」。
今年は上十三支部が設営を担当し、十和田市で開催されます。経営課題に即した分科会も設定されていますので、お問い合わせの上、奮ってご参加ください！

日 時 2021年10月28日(木) 14:30 開会

会 場 サン・ロイヤルとわだ

参加費 3,000円 (来場・オンライン共に)

基調講演

『モンスタードライバーが挑戦した人生』

(株)タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長兼社長/CEO 田嶋 伸博 氏

<分科会>

第1分科会

『不良から優良へ、優良から超優良へ！』

川上塗装工業(株) 代表取締役 川上 秀郎 氏

第2分科会

『キーワードから生まれる新たなビジネススタイル ~形にとらわれない福祉~』

(株)池田介護研究所 代表取締役 池田 右文 氏



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号
Web http://www.sancom.co.jp/ TEL 0178-21-1255

気になっていたお店や
行ったことのないお店で
「ぶらりんセット」を
頼んで、お試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！



【共に生きる障がい者問題委員会コラム 障害者雇用のポイント①】

◎**R3.3.1**より障害者の法定雇用率が引き上げられています。

	～R3.2.29	R3.3.1～
企業規模(従業員数)	45.5 名以上	43.5 名以上
法定雇用率	2.2 %	2.3 %

◎障害者雇用にあたり、事前の準備から雇用まで、また働き続ける中での困りごとや相談を、企業や雇用者・従業員・障がい者本人それぞれの立場にたって、継続的にサポートできるように制度や体制の整備が進んでいます。



◎どんな制度があるのか、どんな機関・窓口があるのか、どんなサポートが受けられるのか
障害者雇用における疑問や困りごと、各種相談など、お気軽にご連絡ください
～『共に生きる障がい者問題委員会 よろず相談窓口』まで～

Oct, 有限会社 オクト

青森県知事許可(般-24)第100121号
〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

◆事業内容◆

- 内装仕上工事(軽鉄・ボード・床・クロス)
- タイル・石工事
- ビル・住宅リフォーム工事



Welcome to DOYU!

新会員紹介



【下北支部】
(一社)りあん
理事長
中西 直美

「思いは通じる!動き出す勇気」を合言葉に障害者の笑顔の為に新しいことにチャレンジします。

〒039-4401
むつ市大畑町湊村 82-3
TEL:0175-34-6686



【下北支部】
(有)コスモクリエイト
代表取締役
氣仙 修

コスモクリエイトは“東通村のなんでも屋さん”。主に、イベントデザインと村おこしに力を入れています。楽しむこそ仕事だと思っています。“新しい出会い”“誰かを喜ばせること”それがコスモクリエイトの幸せです。

〒035-0103 下北郡東通村大字野牛字稲崎平 343-2
TEL:0175-45-7018 FAX:0175-45-7028
URL:http://www.cosmoltd.co.jp/



【上十三支部】
(有)ナンシーズ
代表取締役
田中 計年

創業65年の実績を持つインテリアコーディネーターのいるお店です。現在若きスタッフが頑張っております。

〒033-0012 三沢市平畑 1丁目1-41
TEL:0176-50-1110 FAX:0176-50-1330
URL:https://nancys.co.jp/



【上十三支部】
AIG損害保険(株)
下山 大樹

「まさかの時だけでなく、まさかが起こらないように」皆様に寄り添うリスクコンサルタントでありたいと考えています。何卒よろしくお願い致します。

〒031-0032
八戸市三日町2 明治安田生命八戸ビル4F



【上十三支部】
Chariot Global Office
(チャリョット・グローバル・オフィス)
代表
長田 勇介

英和通訳・翻訳サービスを提供しております。『通訳を通じて言語の壁を乗り越え、国際交流を促進したい!』という思いを胸に日々精進しています。英語に関するお悩みは、お気軽にお問い合わせください。

〒033-0041 三沢市大町 2丁目4番7 2F
TEL:050-5858-6673
URL:https://www.cgo.jp/japan/



【青森支部】
青森まちなかおんせん
支配人
高橋 宏征

青森センターホテル、青森まちなかおんせん、和風れすとらん「ふる河亭」の総支配人として、運営全般を管理しております。

〒030-0862 青森市古川 1丁目10-14
TEL:017-762-7577 FAX:017-762-7578
URL:https://aomori.atinnhotels.com/

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

今回のDOYU あおもりは、例会アンケートを参考にし、人材育成と販売戦略をテーマに取材をさせて頂きました。1ページに収めるのが大変なくらい濃い内容のお話をして頂きありがとうございました。これからも会員の「気になる事」にスポットを当てていきますのでお気軽にご意見お聞かせください。

株式会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>

廃棄物業・総合リサイクル業

本社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579

南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地蔵平1-578
TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295